

受験番号		名前	
------	--	----	--

(1) 以下の用語の中から3つ選択し、それぞれの用語の意味を説明しなさい。

1. 基準階 2. オーケストラピット 3. 病棟部門
4. オープンスクール 5. 閉架方式 6. ユニット型介護施設
7. 成長と変化 8. 教科教室型 9. P F I

出題意図：：建築計画で必要とする基本用語と意味の理解

選んだ番号 ()

1. オフィスなどにおける平均的な執務階。 2. 舞台下に設けられたオーケストラ用演奏スペース。 3. 入院患者に対して診療や看護を行う場。 4. 閉鎖的な教室や教育のあり方を開いていく試み。 5. 閲覧者は直接書架に接することができず、目録等で本を選ぶ。 6. 小規模な介護、生活、空間の単位で介護施設を構成する型。 7. 竣工後必ず発生する人の生活や社会の変化にともなう 建築、設備、機能の更新、更改、増改築、用途変更等。 8. 各教科が専用の教室をもち、時間割に従って生徒が教室へ移動して学ぶ学校運営方式。 9. 民間の資金やノウハウを活用して、公共施設などの建設・維持管理・運営を行う手法。
--

選んだ番号 ()

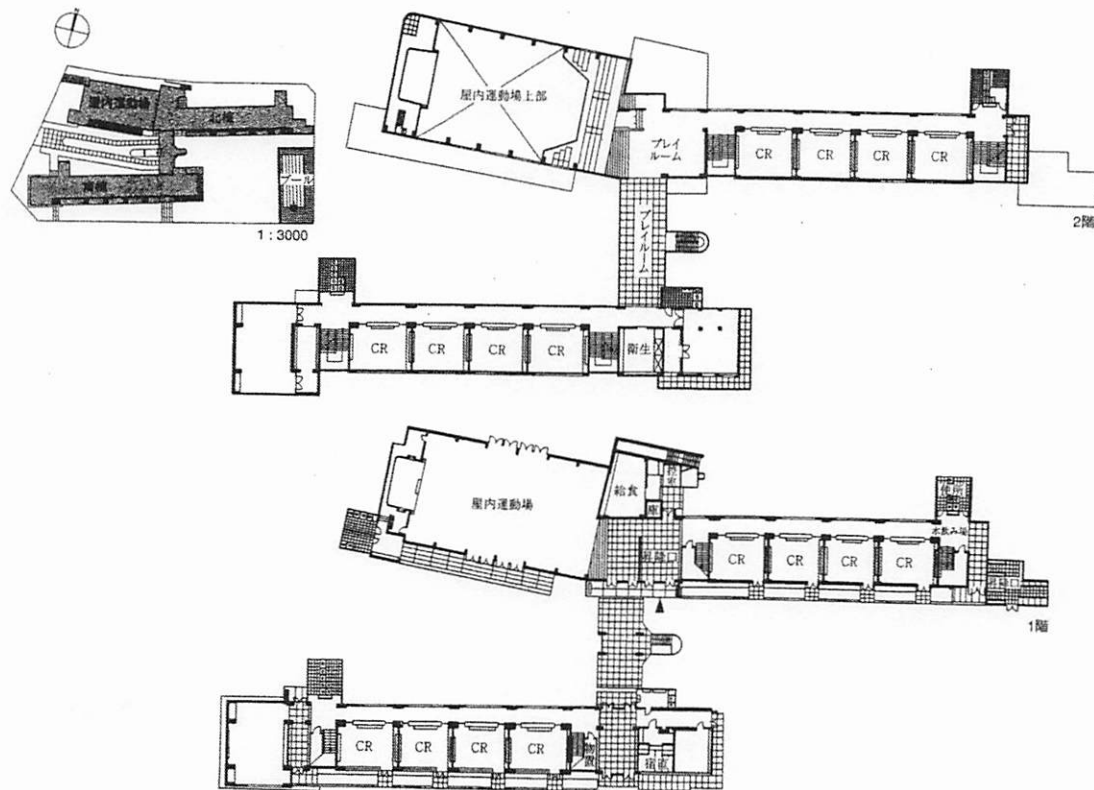
--

選んだ番号 ()

--

出題意図：代表的かつ特徴的な平面図の理解

(2) この平面図について回答しなさい。



① 施設種別

小学校

② 施設名

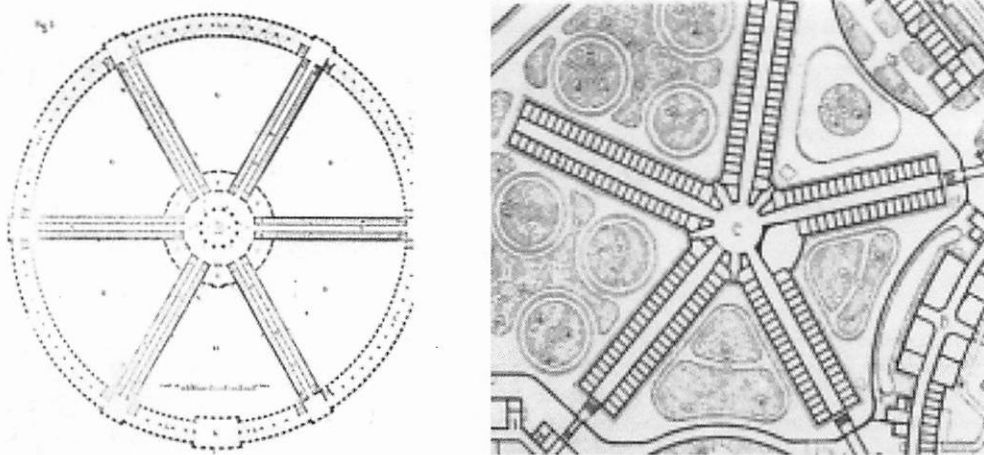
西戸山小学校

③ 建築空間的な工夫や特徴

- ・RC造のモデルプラン
- ・低学年と高学年の生活ゾーン分離
- ・児童の生活用のプレイルーム設置
- ・学年ごとの明確なグルーピング
- ・端部に特別教室を配置し、面接効率を高めた
- ・全体管理がし易い位置に職員諸室を配置

出題意図：計画・設計の焦点の置き方で変わるプランニング（平面）の理解

（３）この２つの平面図について回答しなさい。



① ２つの平面図の組み合わせとして正しいものを選び、番号を○で囲みなさい。

1. 刑務所と刑務所
2. 学校と病院
3. 刑務所とオフィス
4. 病院と刑務所
5. オフィスと住宅
6. 住宅と学校
7. 宇宙基地とオフィス

正解 2

② ２つの図面から何が言えるか。以下の３つの単語を使用して、文章で回答しなさい。

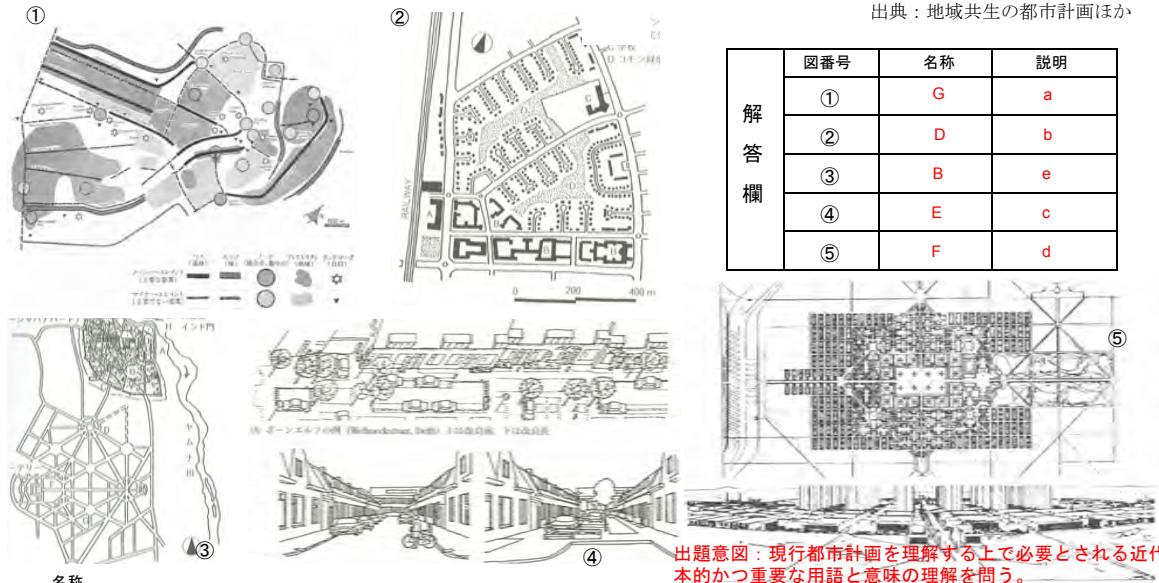
【施設、管理者、利用者】

解答例：

「施設」のそあり方は、その主な「利用者」を誰とするのか、誰のための施設とするのか、また何に価値と軸を置いてつくるのかで変わる。
病院であっても、その主体を「管理者」の視点で、「管理者」の都合のよりように設計・運営すれば、「刑務所」と同じつくりになることをこの２つの図面は示している。

問題 1 下の図版にあてはまる名称とその説明をそれぞれ選び、解答欄に記号で記入しなさい。

出典：地域共生の都市計画ほか



解答欄	図番号	名称	説明
	①	G	a
	②	D	b
	③	B	e
	④	E	c
	⑤	F	d

名称

- A. パリ大改造 B. バロック都市 C. 工業都市構想 D. ラドバーン方式
E. ボンエルフ F. 三百万人都市 G. イメージマップ H. 田園都市構想

説明

- a. 都市計画家ケビン・リンチによる都市解析の手法。新たな都市景観の見方を示した。
b. クルドサックによる歩車分離の徹底と共同緑地の配置を施した居住地計画。
c. 地区交通環境の整備の一例で、歩行者と車を共存させる方式の原型。
d. 広大なオープンスペースに囲まれた摩天楼都市、60 階建ての中心地区・8 階建ての連続住宅を計画。
e. 国家の権威を公式的空間の幾何学的明示によって体现したもの。

問題 2 次の文章の空欄を、下記選択肢から適切な語句を選び記入しなさい。

- 1) 近代から現代への都市変容の展開として、大型プロジェクトによる大都市改造があるが、もうひとつの重要な展開として、① 高速道路 網に依存する巨大なショッピングコンプレックスの② 農村 立地がある。1970 年代に始まった物流革命は、③ 地帯の真ん中に専門店舗のモール、娯楽施設、銀行・医療サービスなどを出現させ、一大消費センターを集積させることとなった。これに伴い、1990 年代から地方小都市圏や農村域での④ モータリゼーション が急速に進行した。
- 2) ⑤ アサー・ペリー は、1929 年にニューヨーク地域計画の提案のひとつとして「⑥ 近隣住区論」の構想を提案した。この提案は、⑦ 小学校区 を単位とする居住地計画単位と理論づけられ、各国のニュータウンに適用された。
- 3) まちづくり⑧ 憲章 は、京都で起こったまちづくり活動の一例で、⑨ 歴史 的町並み・「なりわい」の保全を掲げ、「町内が形成されてきた⑩ の由来」「居住コミュニティを共同で維持してゆく理念」「空間の⑪ 秩序」を乱す建築物への対処」について任意の申し合わせを行う取り組みである。これらはまちづくりの行動規範ともなり、姉小路界限のように⑫ 建築協定 につなげた事例もある。

【問題 2 の選択肢：農村、アサー・ペリー、高速道路、近隣住区論、歴史、秩序、駅前、建築協定、憲章、計画、モータリゼーション、小学校区、ケヴィン・リンチ、田園都市】

問題 3 次の用語について、具体例（地域名など）を挙げ、その概要と問題点を説明しなさい。

田園都市構想

大都市に工業集積・人口集中が進み、都市間に鉄道が敷設されつつあった19世紀末、エベネザード・ハワードによって、明日の田園都市（構想）が提案された。レッチワース（イギリス）などに実現した良好な郊外住宅計画・歩車分離の徹底に加え、緑地計画の起源と言われるなど、これらの構想・計画は世界的に影響を与えた。

問題 4 右図は、問題 2・1) によって景観の質が保たれている。歴史的建造物には（☆）、協定遵守物件には（○）、遵守していないものには（×）の印を付すこと。その上で、これらの意義と問題点を簡潔に述べなさい。

●意義と問題点

京都姉小路界限の景観で、まちづくり憲章から建築協定へ繋がった好例である。歴史的建造物に調和した町並みを再現しようと試みている点が高く評価される一方、強い規制はできず、その浸透には時間がかかる。また、地区外の物件についてはその形態をコントロールすることはできず、都市景観全体をコントロールしているとは言えない。

出題意図：現在の都市景観を解釈する上で必要とされるリテラシーを問うもので、都市景観コントロールの用語理解が必要。

HOPE 計画

出題意図：現行都市計画を理解する上で必要とされる近代都市計画・住宅制作それぞれの代表的用語の理解を問う。

1983年に旧建設省が創設したHOPE計画は、住宅の「量から質」への転換期において、地域の特性や住文化を反映した居住環境整備を目指した制度である。国主導の画一的施策から脱却し、地方自治体が地域景観や高齢化、民間活力の活用を主導した、地方分権的なまちづくりの先駆的な住宅制作の事例である。

